

産科

1. スタッフ（2022年4月1日現在）

科 長（教 授）藤原 寛行
 副 科 長（教 授）高橋 宏典
 外来医長（教 授）大口 昭英
 病棟医長（准教授）薄井 里英
 医 員（講 師）鈴木 寛正
 （助 教）小古山 学
 （助 教）堀江 健司
 他 病院助教、シニアレジデント 9名
 （婦人科、生殖部門を除く）

2. 診療科の特徴

総合周産期母子医療センターを併設し、合併症妊娠やハイリスク妊娠の管理、治療を多数手がけている。新生児が健康に発育できるよう、小児科と協力して診療を行っている。多胎妊娠、前置胎盤、妊娠高血圧症候群が多く、これらを特に得意にしている。県内の周産期医療施設から救急車による産科救急母体搬送を多数受け入れている。

・認定施設

日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
 日本周産期新生児医学会専門医制度周産期専門医（母体・胎児）基幹研修施設

・専門医

日本産科婦人科学会専門医 藤原 寛行 他33名
 日本周産期・新生児医学会周産期指導医
 高橋 宏典、大口 昭英
 日本周産期・新生児医学会周産期専門医
 高橋 宏典 他8名
 日本超音波医学会専門医・指導医
 高橋 宏典、高橋 佳代
 臨床遺伝専門医
 高橋 宏典、堀江 健司

3. 診療実績

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新患者数	再来患者数	紹介率
902人	13,863人	91.4%

2) 入院患者数

入院時病名	患者数
1. 分娩のための入院	603
2. 新生児（TTN、黄疸など）	173
3. 切迫早産	95
4. 多胎	88
5. 流産、人工妊娠中絶	59
6. 他科疾患合併妊娠	51
7. 妊娠高血圧症候群、HELLP	44
8. 胎児発育不全	44
9. 前置胎盤・低置胎盤	38
10. 切迫流産	31
11. 羊水検査	31
12. 産褥異常	25
13. 早産期前期破水	12
14. 頸管縫縮術	12
15. 妊娠悪阻	10
16. 羊水量の異常	8
17. 胎児機能不全・胎盤機能不全	7
18. 胎児死亡	6
19. 帝王切開癒痕部妊娠	4
20. 常位胎盤早期剥離	2
21. その他	48
合計	1391

3) 分娩件数と手術件数

分娩総数	901件
単胎	824件
双胎	77件

手術術式別件数

手術術式	件数
帝王切開術	479
吸引分娩	50
子宮頸管縫縮術	24
子宮内容除去術	22

帝王切開術の適応	件数
1. 既往帝王切開	145
2. 多胎	72
3. 前置胎盤・低置胎盤	42
4. 胎児機能不全	42
5. 胎位異常	35
6. 分娩停止	32
7. 妊娠高血圧症候群（HELLPも含む）	23
8. 子宮筋腫、子宮手術既往	23
9. 胎児異常	10

10. 子宮内感染	9
11. 児頭骨盤不均衡	8
12. 常位胎盤早期剥離	7
13. その他*	31
合計	479

*母体合併症、Covid-19感染を含む

4) 死亡・死産症例

母体死亡症例：0件

死産数（妊娠22週以降）：8件

双胎：2件

臍帯因子：2件

常位胎盤早期剥離：1件

染色体異常：1件

胎児発育不全：1件

絨毛膜羊膜炎：1件

5) 主な処置・検査

羊水染色体検査

精密胎児超音波検査

無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）

6) カンファランス

（1）診療科内

月～金：入院患者

週1回：新患、重症患者

（2）他科

週1回：新生児集中治療部、小児外科、小児画像

診断部との合同カンファランス

（3）他職種

月1回：外来看護師、社会福祉士、退院支援看護

師との合同カンファランス

4. 2022年の目標・事業計画等

- 1) 医師全員の超音波検査技術の向上を図る
- 2) 周産期専門医の育成